

## 平成 31 年第 2 回大野城市議会 3 月定例会一般質問通告

○本会議（3 日目）一般質問

平成 31 年 3 月 13 日（水） 午前 9 時 30 分（於 議 場）

議員氏名	件 名
森 和也	<p>1. コミュニティバス運行事業の推進について（平成 27 年 6 月）</p> <p>(1) コミュニティバスが運行されていない、中央地区南側と南地区において、公共交通空白地はどこか</p> <p>(2) 南地区の、大野城市内における最新の人口比率、及び南地区の最新の高齢者人口の割合、その他の地区の高齢者人口の全人口に占める割合は、どのようになっているか</p> <p>(3) 「ふれあい号」に対する市からの補助金額は、年間いくらか</p> <p>(4) 補助金額をもっと増やせないかと考えているが、いかがか</p> <p>(5) 他にも、大野城市内には、「なかよし号」が運行されているが、これはどのようなルートを通っているのか。概要について、説明していただきたい。また、「なかよし号」に対する年間の補助金額はいくらか</p> <p>(6) 公共交通の観点で税金の使い方をみると、「まどか号」と「なかよし号」が走っている北・東・中央地区北側と、走っていない中央地区南側と南地区を比較して大きな差があるが、このような偏った税金の使い方ではよろしいのか。</p> <p>また、コミュニティバスを利用したら 100 円で行けるところ、西鉄バスで月の浦から下大和駅、春日原駅、大野城駅まで行くのに 300 円くらいかかり、月の浦から市役所に行くには 400 円くらいかかる。南地区に住んでいる方が公共交通であるバスを利用した場合、バス運賃が多くかかるが、このような状況をどう捉えているか</p> <p>(7) 中央地区南側と南地区に、コミュニティバス「まどか号」を運行することはできないか。できないならば、それはなぜか</p> <p>(8) 「高齢者のバス乗車料金の助成についても、先進地等の事例を含め、今後、調査・研究したい。」という回答があったが、調査・研究したことがあれば教えてもらいたい</p> <p>(9) 福岡市では、高齢者乗車券という事業を行っているが、このような施策はできないか。福岡市は事業を行っているのに、本市ができないのはなぜか</p> <p>2. まちぴか市民運動と一般廃棄物処理について（平成 27 年 9 月）</p> <p>(1) まちぴか市民運動は、平成 27 年 8 月 21 日現在で、15 団体を含む 468 名が登録されている状況だったが、現在は何名が登録されているか</p> <p>(2) 登録者等に対する継続的な環境美化推進用のごみ袋、いわゆる美化袋の配布をお願いしたが、その際、「今後は、四つのコミュニティセンターにおいても配布ができるよう、調整しているところである。」という旨の回答をいただいた。現在は、各コミュニティセンターで配布しているか</p> <p>(3) 迷惑行為防止重点地区を指定する考えがないか質問したところ、「まずは、迷惑行為防止活動の重点地区の指定ではなく、地域団体が活動する推進地区の指定を行うことから始めたいと考えている。」との回答があったが、「推進地区」というのはどのようなものか。いつ頃、指定するのか、考えを聞かせてもらいたい</p> <p>(4) 「紙おむつのリサイクルは、高齢化の進行に伴い、重要な課題となっていることから、本市においては、今後も広域的な取り組みを十分に視</p>

	<p>野に入れながら、近隣の自治体や県、民間企業、排出事業者との協議や検討を継続してまいりたい。」という回答があったが、何か変化事項はないか</p> <p>3. 防災・防犯（安心・安全のまちづくり施策）について（平成 27 年 12 月、平成 28 年 3 月）</p> <p>(1) 見守りカメラ・防犯カメラについて</p> <p>(2) 災害対策本部設置運営訓練について</p> <p>(3) 大雪対応について</p> <p>(4) 災害情報伝達について</p>
田中 健一	<p>1. 大野城の未来づくりについて</p> <p>(1) 豪雨災害や地震に強いまちづくりを推進すべきと考えるが、どうか</p> <p>(2) 西鉄天神大牟田線高架事業による周辺のまちづくりは、どのようになっているのか</p> <p>(3) 九州大学との連携を強力に推進し、多くの様々な行政課題を解決すべきと考えるが、どうか</p>
河村 康之	<p>1. 公共施設の防犯カメラの設置について</p> <p>(1) 本市の防犯カメラの設置状況について</p> <p>(2) まどかぴあに設置されている防犯カメラについて</p> <p>2. 市民からの情報提供における LINE の活用について</p> <p>(1) 本市の情報発信の LINE の活用について</p> <p>(2) LINE を活用した市民からの道路・歩道等の不具合箇所の情報提供や、子どもからのいじめ等の相談について</p>
松田 美由紀	<p>1. データヘルス計画について（平成 28 年 6 月定例会）</p> <p>(1) 特定健診未受診者対策について</p> <p>(2) 健診後の保健指導について</p> <p>(3) 健康ポイント制度の導入について</p> <p>(4) 集団健診及び個別健診について</p> <p>(5) がん検診について</p> <p>2. 骨髄バンクドナー支援制度について（平成 28 年 12 月定例会）</p> <p>(1) 本市における普及啓発活動とドナー登録状況について</p> <p>(2) 骨髄バンクドナー支援制度の必要性について</p> <p>3. 市民公益活動促進プラットフォーム（まどかぷらっと）について</p> <p>(1) 大野城市型プラットフォームの導入のねらいは</p> <p>(2) 今回大野城市型プラットフォームが導入されるが、他自治体の実施状況は</p> <p>(3) 市民公益活動促進プラットフォームと既存のパートナーシップ活動支援センターとの関係は</p> <p>(4) 参加者登録資格及び登録対象団体について</p> <p>(5) 市民や活動団体のメリットは</p> <p>(6) ポイント付与制度について</p>
松崎 百合子	<p>1. 高齢者の健康支援といこいの里の時間延長について</p> <p>(1) いこいの里の概要について</p> <p>(2) いこいの里事業は利用者に対してどのような効果が見られるか</p> <p>(3) いこいの里の利用者について</p> <p>(4) いこいの里事業の課題と今後の方針について</p> <p>(5) 利用者のアンケートについて</p> <p>(6) 近隣自治体の入浴施設の概要と運営費について</p> <p>(7) 近隣自治体の市民プール事業の実施状況について</p> <p>(8) いこいの里の閉館が夏でも 18 時と早い。市民からの要望に応じて利用</p>

時間を延長するべきと考えるが、市の考えはいかがか

2. 子どもの貧困防止と学習支援について

- (1) 本市では「夢とみらいの子どもプランⅢ」に子どもの貧困について調査し対策を盛り込むと答弁されてきた。同プラン案ができたが、本市の子どもの貧困状況はどう捉えられたか
- (2) 中学生の就学援助について昨年9月議会の答弁では、2013年度は19.8%、2017年度は21.4%と、1.6ポイント増加している。子どもの貧困化が進んでいるのではないか
- (3) 子どもの貧困防止と貧困状況にある子どもたちへの支援について、「夢とみらいの子どもプランⅢ」の案にどのような施策を立てられたか
- (4) 貧困の連鎖を防止するために家庭環境が困難な状況にある子どもたちへの学習支援が重要と考えるが、本市での学習支援状況はどうか、また今後拡大していく計画はあるか
- (5) 2015年9月議会で「学習支援が必要な中学生を対象とした学習支援事業を検討中」との教育部長の答弁があったが、その後どのような支援を行ったか
- (6) 福岡県が「生活困窮世帯の小・中学生を対象に、気軽に通うことのできる居場所を兼ねた学習支援教室を開設し、生活習慣の改善」を行っている。国の生活困窮者自立支援制度を使って各市も実施しているとのことだが、県内の実施状況はどうか。また、2019年度以降新規事業予定の自治体はあるのか
- (7) 市民団体が毎週1回、塾に行っていない子どもたちの学習支援教室をおにぎりなど軽食つきで行っている。子どもの貧困防止を目的とした学習と食の支援が4コミュニティ単位で必要だと考えるが市の考えと予定はいかがか

○本会議（4日目）一般質問

平成31年3月14日（木） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
松下 真一	1. 住民要求への対応の進捗状況について (1) 安全対策について (2) 子育て支援について (3) 学習支援と貧困対策について
大塚 みどり	1. ICT 環境整備について (1) 文部科学省では、新学習指導要領の実施を見据え「2018年度以降の学校における ICT 環境の整備方針」を取りまとめている。各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図り、「教育の ICT 化」に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）を策定している 2. 防災・減災について (1) 防災意識を高めるための施策について
清水 純子	1. 水道法の一部改正について (1) 2002年改正後の本市の課題について (2) 将来世代の負担にならないように現在どのような取り組みを行っているのか 2. 学校区制について (1) マンションの建築が相次ぎ、大野・大利小学校に 児童が集中し、その一方で下大利小学校は、児童の減少が続くと思われるが、学校規模など今後の対策は 3. 男女が安心して働き続けるために (1) 日曜・祝日に勤務する保護者が安心して、子育てと仕事が両立できるように、休日保育が必要と 2016年12月議会にて一般質問をした。その後の検討状況は 4. 外国籍住民との共生社会について (1) 国の政策により今後外国籍の住民が増えることになるが、本市の外国籍の住民の実状は把握しているか (2) 小中学校の外国籍の児童生徒数と日本語指導の必要な生徒数とその対応は (3) 児童生徒や保護者の困りごと相談への対応は (4) 学齢簿から漏れている子どもの実態は (5) 地域の人との交流の場が必要、その対策は 5. 下大利駅東土地区画整理事業関連について (1) 下大利駅東土地区画整理事業は進捗しているが、下大利団地は老朽化と合わせ高齢化も進んでいる。幹線道路が団地を横断する計画もあるが今後の方向性は